自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の理念を基本にグループホーム独自の理念を掲げている。カンファレンスを中心に話合いながら取組みを行っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	10 月に 2 年ぶりにメディカルフェスティバルを開催し、地域との交流の機会を確保できた。運営推進会議は、現時点では対面で行えていない	・コロナ禍でもあり、運営推進会議は対面では行なえていないと思います ・社会情勢は行動制限無しですが、事業所は手離しでと言う事は難しいと思います。できるところから、地域交流が再開できればと思います。		感染状況をみながら、近隣の個人商店への買物等を通して、日常生活の中で地域住民の方と接する機会を設けていく。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防のため電話にて現状や取組みについて報告・話合いを行い出た意見を活かしている。	電話は書面では双方向の活発な意見交換が難しいところですが、意見集約は継続され、サービス向上に生かされています。		R5.1 より事業所内で、対面での運営推進会議を再開。対面での意見交換を重ねていく。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話にて地域包括や民生委員の方と現状や取組みについて話合い、運営推進会議議事録を作成し役場の担当窓口へ持参して状況報告している。	議事録にて運営状況を報告する事で市が把握されています。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内で開催される研修に計画的に参加。ユニットカンファレンス等で伝達研修も行い知識を深めている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内で開催される研修に計画的に参加。ユニットカンファレンス等で伝達研修も行い知識を深めている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内で開催される研修に計画的に参加。ユニットカンファレンス等で伝達研修も行い知識を深めている。必要性によって、ご家族の相談にも応じている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約は入居担当者と管理者が行い補足しながら説明をしている。解約時や改定の際も説明し同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に家族アンケートを実施し意見収集と改善を行っている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別面談、毎月のカンファレスを実施している。出された意見はすぐに共有し、実践に反映するよう努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年 2 回の自己評価を基にした力量評価を行い、自己申告書に基づき、管理者の面談を受けている。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の力量や要望に応じて研修に参加できる機会を設けている。※現在は感染予防対策のため動画視聴を中心に実施。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員交流会（オンライン）、エリア会議、現任研修に参加している			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事（食器拭きや洗濯たたみなど）やレクリエーション（パズル、カラオケなど）を一緒に楽しく支えながら生活を共にしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族、知人、友人等と、居室内での面会の場を設けている。また、面会時、できるだけ写真を撮影することで、記録を残している。	・文書による説明時も写真が添付されています ・外出はコロナ禍で難しいかと思いますが、ご家族やご友人との面会や馴染みのものを通して、関係の継続が図れるよう工夫されています		面会だけにとどまらず、ご本人の能力に応じて、電話、手紙等のやりとりも行いながら、関わりが途切れないよう工夫していく

Ⅱ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の様子は記録や職員間で口頭や書面にて情報共有している。また毎月のカンファレンスで本人の意向を探りケアプランの作成に反映させている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の希望、主治医、訪問看護師、歯科衛生士、理学療法士、言語聴覚士の意見を基にカンファレンスを職員間で行いケアプランの作成を行っている。	他職種で多面的に支援策を検討し、ケアを実践されています	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理日誌、介護日誌、介護チェックシートを活用し職員間で情報共有を行い実践や計画に反映させている。		A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている (C) あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍前は地域のボランティアを依頼したり、近隣の飲食店に外出したりしていたが、現在は休止状態である。	現在は外部との交流は休止状態である。施設内にとどまらず、地域資源に触れるアプローチが今後少しずつできるようにしていただきたいと思います。		感染状況をみながら、近隣の個人商店への買物等を通して、日常生活の中で地域住民の方と接する機会を設けていく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問マッサージや訪問美容を利用している。	地域資源、外部サービスを活用し、ご利用者の生活がより豊かになるよう工夫して頂きたいと思います。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時面談時にかかりつけ医を確認し、往診時には希望のかかりつけ医に来て頂いている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院の相談員と情報共有を行い早期退院出来るように連携している。		A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 充分にできている (B) ほぼできている	契約時に説明。医療従事者と連携し、状態の変化に応じて、看取		A. 充分にできている (B) ほぼできている	

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	り対応等について、話合いながら取組む体制が整っている。		C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急対応マニュアルを事務所に設置。普通救命講習を職員全員が受講している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年 2 回消防署立会いの消防訓練を実施。玄関にハザードマップを設置。2 ヶ月に 1 回、機器や備品の確認、防災グッズの設置を行っている。	訓練に地域役員の方々に参加いただいたり、地域の防災訓練に参加したりなど、施設のマニュアルや動きが、地域と連動するようフローが描けるとよりよいのではと思います。	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議等で情報交換を行い、地域の方々に事業所内の訓練に参加いただいたり、事業所職員が地域の訓練に参加することで、協力体制を構築していく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーに関しては職員間で確認共有している。不適切な対応がないか、毎月振り返りを行っている		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時のご本人の体調や気分に応じて、食事や入浴支援等は柔軟に行っている。居室での休憩や臥床も声かけをしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	形状、量などその方に合わせて工夫・支援をしている。食器洗い、食器拭き等はご利用者と一緒に行っている		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	往診医と連携して食事摂取量が減少傾向な方には補食として経腸栄養剤などを処方している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問歯科と連携し本人のADLに合わせて自立支援している。洗口液を使用し、口腔内の状態保持に努めている		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。水分摂取やオリゴ糖等の使用で排便を促進している		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の体調や気持ちに応じながら入浴介助を行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	疲労、不眠傾向な時には臥床の声かけをしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処方箋での薬剤情報を熟読し医療機関との連携で薬剤の調節に留意している。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	好きな物・事を把握し提供や支援している。	楽しみごとへの支援は非常に重要な活動であり、十分に行なえていると思われる、後利用者の思いや好きなこと等を把握し、意欲を引き出していただきたいと思います。		レクリエーションや家事の役割が、ワンパターンにならないよう心掛ける。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	天候に合わせて外気浴や散歩を取り入れている。11 月は紅葉狩りに外出できた	戸外へ出かけ、ご利用者の楽しみや健康増進につなげていただきたいと思います。		外気浴、散歩の時間を定期的に設けていく。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない (D.) ほとんどできていない	希望があれば近隣のスーパーやコンビニへの買物に同行していたが、現在はコロナ感染予防のため行えていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話の取次ぎや手紙の投函に応じている。ご本人宛に届いた手紙は、ご本人に開封してもらう。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	和室をサロン風にしたり四季ごとに飾付けをするなど季節感ある空間を演出している。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩、食事、買物などその時に応じて選択が出来るように支援している。現在はコロナ感染予防のため、外出や買い物にはいけていない			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自身の習慣や生活嗜好（食物、趣味など）に近づける様に支援している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体状態に変化があれば往診医、訪看、歯科医などの医療職に報告し指示を仰ぐ。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	好きな本、音楽、テレビなどに接する機会をつくり楽しい時間を過ごす環境を支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みのある物（三面鏡、タンス、衣類など）を自室に置き安心して過ごせる様に支援している。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣の散歩は実施できているが、買物や外食は行えていない。10 月に春日神社の祭事の行列の見物（ホーム内）や、メディカルフェスティバルに参加することができた。	散歩の継続とともに、個別の意向も含め、外出機会や催しごとへの参加などが提供できるよう工夫していただきたいと思います。		

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の得意な分野（料理、洗濯たたみ、歌など）を見つけ共に楽しみながら参加する機会をつくる。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の好きな事（家事、歌、散歩買物など）が出来る様に支援している。※現在はコロナ感染予防のため買物や外食はできていない。		A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍前は毎年夏祭りなどで地域住民との交流を図っていた。本年 10 月に 2 年ぶりにメディカルフェスティバルを開催したことで、地域と交流ができた。	地域の関わりによって、ご本人の力や役割が発揮され、自己有用感などを感じていただきたいと思います。		感染対策に配慮しながら、地域住民との交流の場を増やしていきたい。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームで安心して楽しみながら本人のペースで職員と共に生活が出来る様に支援している。	安住の場所として、ホームでの暮らしが楽しく穏やかであるよう、ご支援いただきたいと思います。この項目は最終的な目標であり、大変重要なポイントでもある。自己評価は C だが、全体的に「B」ほぼ出来ている」の項目が多い。	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご利用者の目線で、感じ、考え、行動することを全職員で実践し、ご利用者満足度の向上に努めたい。